

# DIGITABLE 第 57 回勉強会レポート

2012年7月21日 於：江東区総合区民センター 第6会議室



Ipadによる動画撮影を早速実演してくれたSY会員を囲んで

Digitable 基礎講座 「一眼レフでの動画入門」：高木大輔 講師  
参加者全員による“ライトニングトーク”（持ち時間5分）  
Photoshop 研究講座「紫色の研究」：平野正志 講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

## Digitable 基礎講座 2012 第4回

### 一眼レフでの動画入門：高木大輔講師

#### ■いまなぜ、一眼動画なのか？

既にコンパクトデジタルではムービー機能を備えたものが主流だったが、この二三年、デジタル一眼レフにも本格的な動画機能を備えたものが登場し、フィルムムービーという言葉で扱われるようになった。

またスマートフォンや今後はiPad等の急速な普及浸透により、今後はある意味、静止画と動画の境が感覚的に薄れて行くと思われる。今年度のDIGITABLE講座の中でも、動画に関する研究を何回かに分けて行っていきたい。

#### ■動画編集の変遷

かつては物理的にフィルム素材を切り貼りして編集を行っていた。続いてVTRの時代になって素材データ（テープ）から編集先へ順次コピーして行く方式でリニア（VTR）編集と呼ばれるようになったが、エフェクターやミキサー等の大規模な設備投資が必要で、専門の編集スタジオを利用し、莫大な編集費用がかかった。

さらにパソコンとソフトの進化でコンピュータ上でデジタルデータとして編集する方式が生まれ、ノンリニア編集と呼ばれるようになる。個人スタジオでも編集が可能になってきたが、メディアがテープであったため、テープのキャプチャーと書き出しに時間がかかっていた。

現在のフィルムムービーも、同じくコンピュータ上でデジタルデータとして編集する方式だが、動画メディアの発達によりメモリーカード等への記録が可能になりテープのキャプチャーと書き出しから解放され、動画編集が身近なものになった。

#### ■ViewNX 2による動画編集

ViewNX 2に付属の動画編集ソフトウェア「Nikon Movie Editor」で、デジタルカメラで撮影した画像や動画を組み合わせてオリジナルのムービーを作成できる。

\*\*\*\*\*

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

#### (8) 一眼動画のメリット

##### \* センサーのサイズ

- ・プロ用ビデオカメラの多くは、2/3インチまたは1/2インチのセンサーを使用
- ・キヤノン、ソニーのセミプロ用ビデオカメラは、3個の1/3インチのセンサーを使用 (4.8 × 3.6mm)
- 価格 約70万円：Canon XL H1A、Sony HDR FX100E

##### \* 被写界深度

##### \* 選択肢の多い交換レンズ

##### \* より低価格

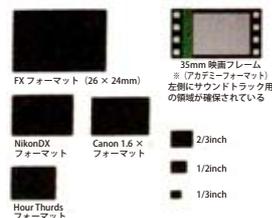
##### \* 携帯しやすくセットアップが容易

##### \* モジュールアクセサリが使用が可能

##### \* 高画質 (フルHD/H264)

##### \* 高品質音声アクセサリ

##### \* Web 映画業界に最適



#### 一眼動画のメリットについてのコンテンツボード



ViewNX 2による動画編集

## 参加者全員による “ライトニングトーク”

(各自持ち時間 5分)

YA 会員：フルフォーマットの NUDE 作品、モデルの発表の権利問題についても意見を求めた

ST 会員：10年ぶりに訪れたカンボジアの変遷、観光地化

SY 会員：Ipad による動画撮影を早速実演してくれた

NY 会員：自宅ポートレートスタジオが始動、パンフも紹介

KS 会員：思わぬ検査入院の災難ぶりを面白おかしく披露

AY 会員：キャノンギャラリーでの Pro1 による出力レポート

EY 会員：AY さんと同行テスト 実写の青色の違いを指摘

KM 会員：これから日常の記録に努めるとの体験談

MM 会員：裏磐梯での撮影 鮮やかなプリント発表

KT 会員：パソコントラブルの修復記

TM 会友：パソコン接続撮影での手元表示についての工夫

...

\*\*\*\*\*

## Photoshop 研究講座 平野正志 講師

### 「紫色の研究」

紫色の花を撮影するが、カメラは RAW 撮影で WB が太陽なので、多少実際の色温度とは違う、モニターで大きく色が違って見えるのはそのためとも思うが、カメラによっても違いがある。

特に紫の花を撮影した場合にニコンは青くモニターに表示され、キャノンは紫に表示された。

同じ画像の撮影データがニコンもパソコンモニターでは紫に近い色に表示され、実際の色に近いのかなと思うが、パソコン画面での表示とカメラモニターの表示が明らかに違うのもやや気になる。単に表示の問題なのか、WBの問題か、色に関する問題なのか…。

色味の違う花で同様なテストを行うが、結局、モニターの色と実際の花の色の違いは明らかだし、カメラによってもモニターによっても色は違う。そこまで考えると記憶としての花の色もあやふやで、どんな色が実際の花の色かと言うのは分からなくなってくる。

つくづく記憶と云うのはあいまいだという事が分かる。あいまいな記憶との照合の中で、明らかに違うという色で無ければ、自然と云う事かもしれないと思う。

紫のサンプルデータを印刷してみる。撮影画像の彩度を 0 から 5 度間隔で＋方向に段階に調整ファイルを作ると、撮影した花の画像のうち代表的と思われる色の部分を選択し、その部分の色を情報で表示してみるとある程度の幅があるのがわかる。実際の花の色はすでに記憶の中にしかなく定かとは言えないが、印象としては H マイナス傾向が正解のように思える。

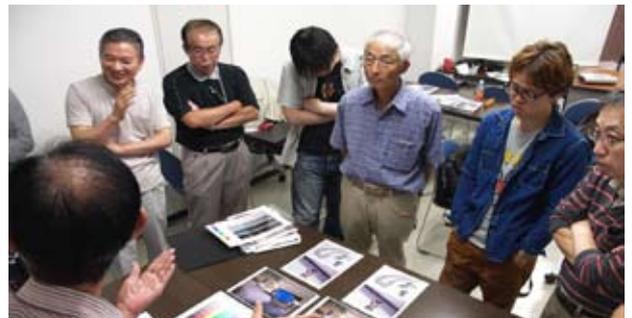
\*\*\*\*\*

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

\*\*\*\*\*



今月の 1 枚：高木講師による夏合宿の説明  
次月は合宿で授業はお休みです

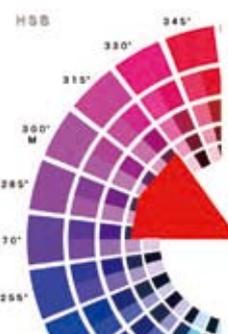


カメラモニターによる花の色の違い



+25	+20	+15	+10	+5	0	-5	-10	-15	-20	-25
H120	H115	H110	H105	H100	H295	H290	H285	H280	H275	H270
S180	S180	S200	S100							
B47										
G0										
R65	R65	R100	H150							

紫のサンプルデータを印刷してみる



撮影した花の画像のうち代表的と思われる色の部分を選択し、その部分の色を情報で表示してみるとある程度の幅があるのがわかる。ピクセル単位ではないが、ある程度の範囲の色の傾向として中間に近い値、H295、S100、B47、R110、G0、B120。を基本色とし、色相彩度から色相のみを＋5ずつ変更して別ファイルとし保存した。同時にべた塗りの升目に情報値と同じ色を塗りこんでいる。実際の花の色はすでに記憶の中にしかなく定かとは言えないが、印象としては H マイナス傾向が正解のように思える。